

ジェネリック医薬品に関するアンケート（薬局向け）結果

調査年月日：平成27年9月1日～平成27年9月30日

調査対象：奈良県内の薬局

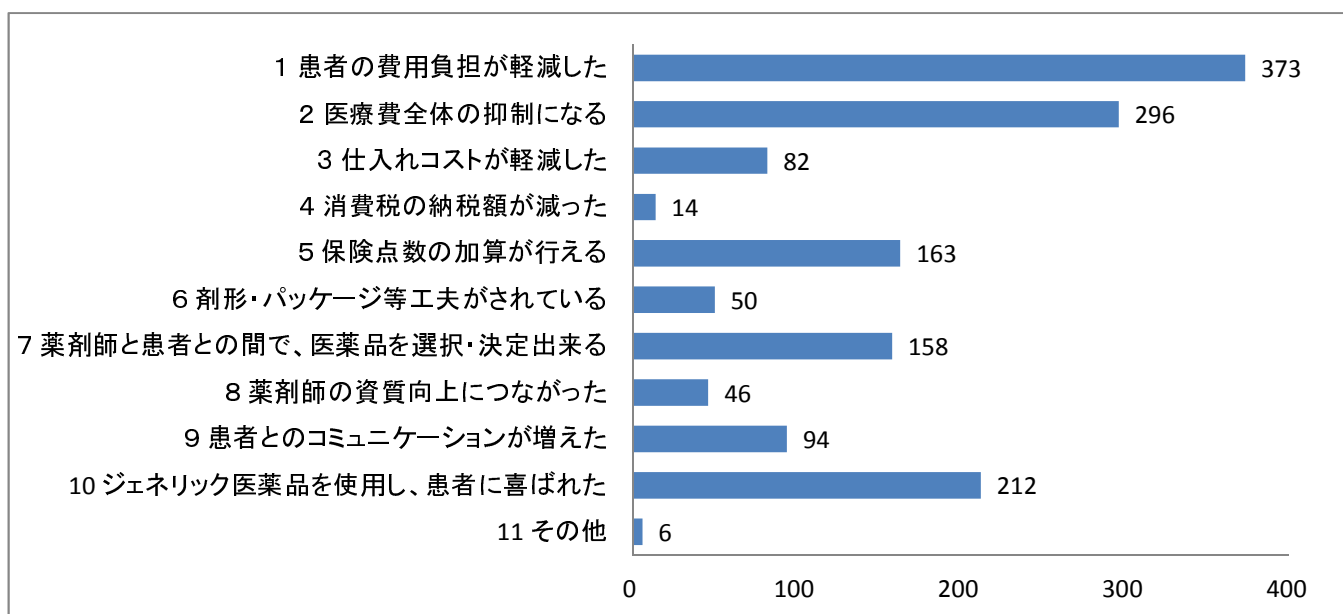
I. 調査票の回収状況

調査対象薬局数	518施設
回答数	394施設
回収率	76.1%

II. 質問に対する回答状況

問1 ジェネリック医薬品を取り扱う中で良かった点についてお尋ねします。あてはまるものをすべて選び、✓印を付けて下さい。（複数選択可）

有効回答数：389

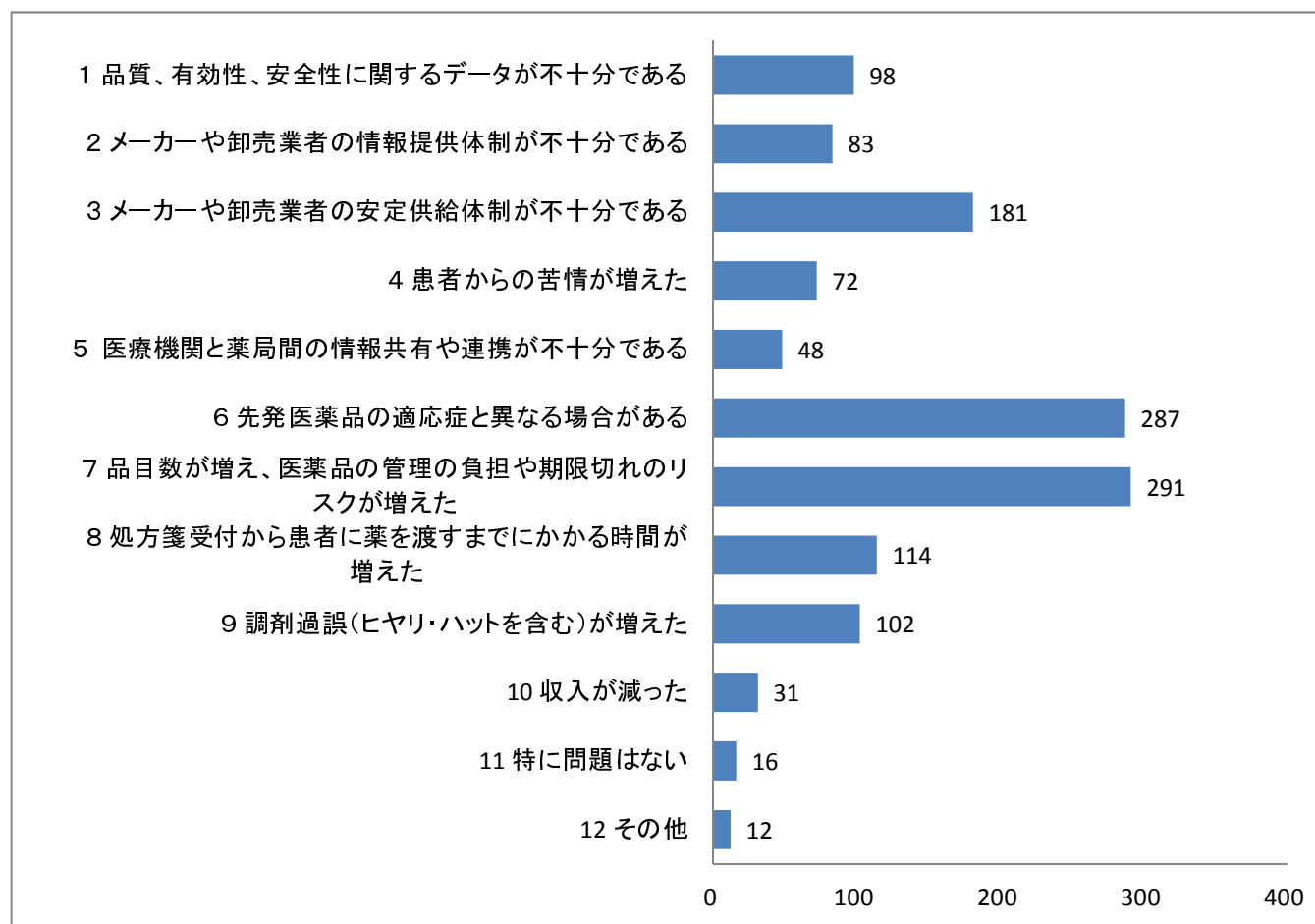


その他の内容（抜粋）

- ・あらためて薬物動態等の勉強をし直すことができた。いい復習になった。
- ・小包装のものも考えられる。
- ・他国に遅れを取り戻すことが出来つつあるのは喜ばしいことです。

問2 ジェネリック医薬品を取り扱う中で発生した問題点についてお尋ねします。あてはまるものをすべて選び、✓印を付けて下さい。(複数選択可)

有効回答数：376



その他の内容 (抜粋)

- ・ 剤形の違いで患者さんへの説明に苦労する。
- ・ ジェネリックは中国製だから嫌だといって、先発を希望される患者さんが最近増えた。マスコミの偏った報道に振り回される。
- ・ ジェネリック医薬品にも変更不可のチェックがあるので入手に困ることがある。ジェネリックにはチェックは外してほしい
- ・ 在庫が非常に多くなった。調剤加算をもっと考えて欲しい。
- ・ 適応症の違いにより、変更できたりできなかったりするところが、患者さんには理解していただき辛いところだと思います。
- ・ 同じ医薬品とは言えない。同じ効果のある医薬品としか言えない。
- ・ 保護課より生活保護受給者へのジェネリック使用の依頼が薬局にはあるにも拘らず、患者さんへの案内が不十分でトラブルになった事あり。

問3 問2 ①～⑤について、具体事例があれば記載をお願いします。  
(差し支えない範囲で結構です)

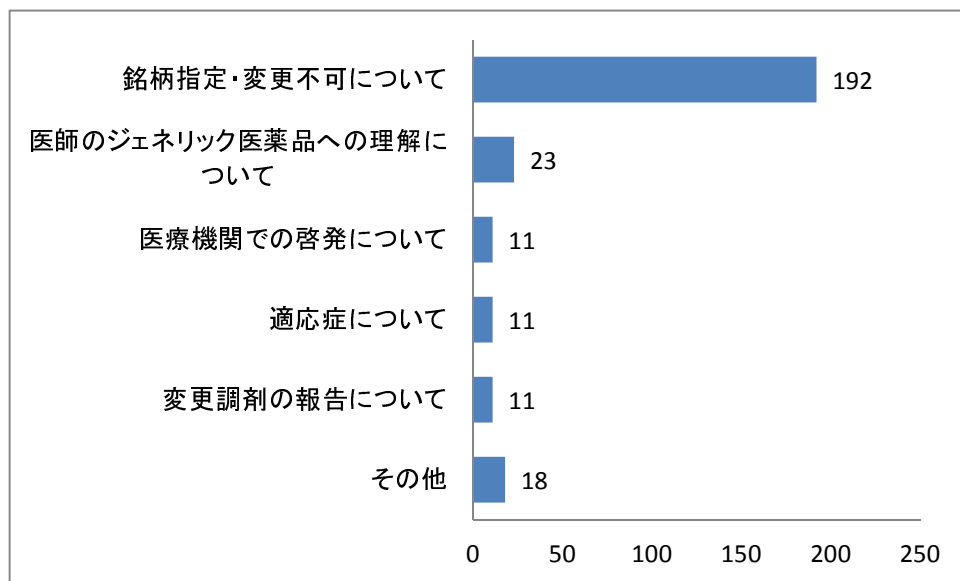
有効回答数：219

別紙3参照

問4 ジェネリック医薬品の使用に関して、医療機関に望むことがあれば記載をお願いします。

有効回答数：266

自由記載のため、回答内容により分類した。



#### 銘柄指定・変更不可について

- ・処方箋へジェネリック医薬品を銘柄指定した上に、変更不可にチェックすることはやめてほしい。または理由を示してほしい。
- ・処方箋へジェネリック医薬品を銘柄指定することはやめてほしい。または理由を示してほしい。
- ・変更不可にチェックすることはやめてほしい。または理由を示してほしい。
- ・一般名処方にしてほしい。

#### 医師のジェネリック医薬品への理解について

- ・医師のジェネリック医薬品への理解が乏しい。
- ・医師から患者が不安になるようなことを言わないでほしい。
- ・医師は患者に先発医薬品を勧めているにもかかわらず、一般名で処方している。薬局と患者がもめる元なので、やめてほしい。(先発医薬品で処方し、変更不可にチェックしてほしい。)
- ・患者が先発医薬品を希望しているにもかかわらず、一般名で処方している。薬局と患者がもめる元なので、やめてほしい。(先発医薬品で処方し、変更不可にチェックしてほしい。)

#### 医療機関での啓発について

- ・医師から患者に、ジェネリック医薬品の利点を説明してほしい。
- ・医療機関でもっとジェネリック医薬品を啓発推進してほしい。

## 適応症について

- ・先発医薬品とジェネリック医薬品で適応症が異なる場合、処方箋の変更不可にチェックするか、病名を記載してほしい。

## 変更調剤の報告について

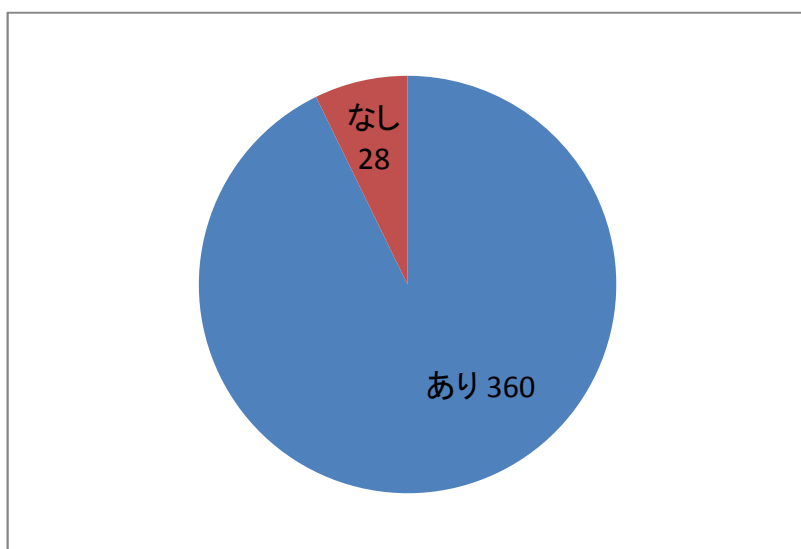
- ・報告内容を、次回の処方箋に反映させてほしい。
- ・FAXで受付してほしい。(処方箋にFAX番号がない)
- ・報告方法を統一してほしい。
- ・一般名処方なら報告を省略してほしい。

## その他の内容 (抜粋)

- ・同じ薬でも、処方箋への記載が一般名であったり、先発品名であったりと、統一されていないので、一般名で処方箋を記載するのならば、ずっと一般名で記載して欲しい。
- ・公費の方には、できるだけ一般名処方をお願いしたい。
- ・ジェネリックで処方してもらった方が、患者がジェネリック医薬品を受け入れやすい。
- ・大手メーカー等、安心できるメーカーのものを使用してほしい。

問5 ジェネリック医薬品から先発医薬品に戻ったご経験はありますか。あてはまるものを1つ選び、✓印を付けて下さい。ある場合は、具体事例の記載をお願いします。(差し支えない範囲で結構です)

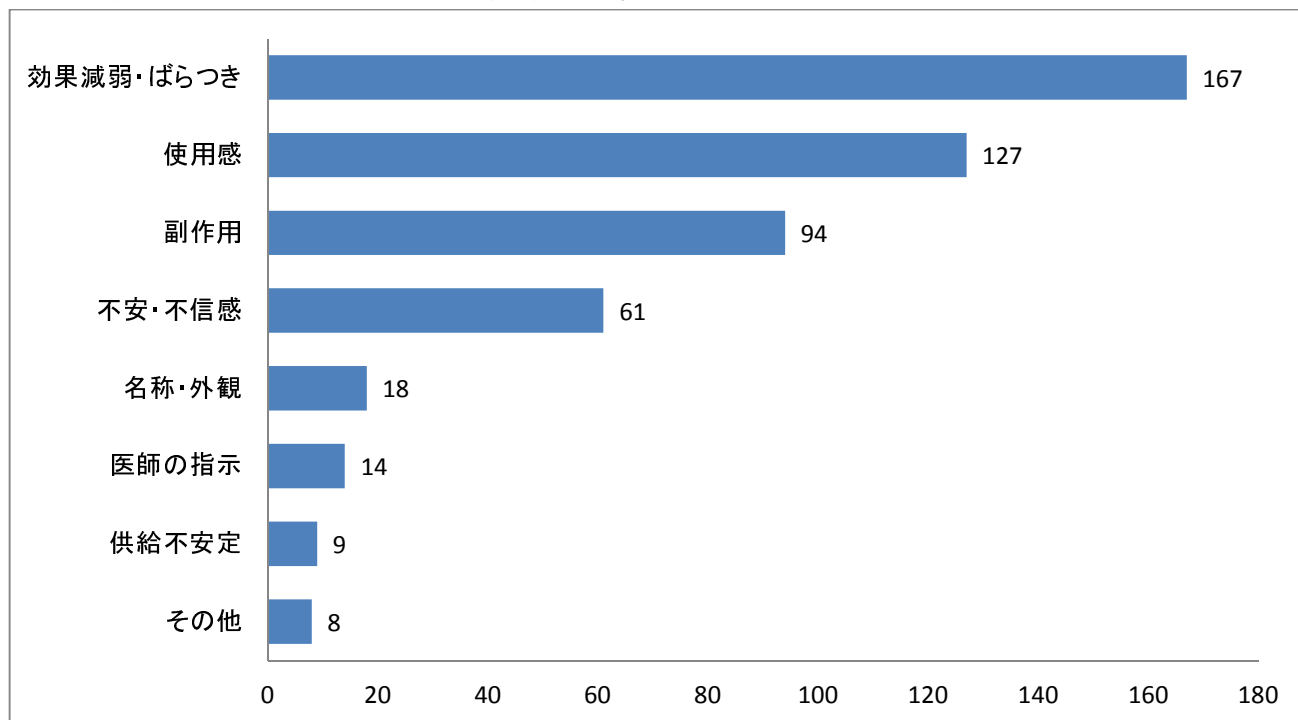
有効回答数：388



## 「あり」の具体事例

有効回答数：350

自由記載のため、回答内容により分類した。



## 効果減弱・ばらつき

- ・患者より、「効き目が減った」「なんとなく効果が感じられない」等の訴え

## 使用感

- ・テープ剤がすぐはがれる
- ・飲みにくい（味・におい・口触り）
- ・シートから出しにくい

## 副作用

- ・外用でのかぶれ
- ・胃腸障害・悪心
- ・かゆみ・アレルギー

## 不安・不信感

- ・知人・家族・メディアの影響「ジェネリックは効果がない」「雑誌でジェネリックは中国で製造しているとの記載があったので怖い」
- ・医師の影響「医師が先発のほうが良いと言った」「副作用（副作用というよりその時の体調変化の場合が多い）が出た時、ジェネリックのせいかもしれないと医師に言われ、親族も含め、今までから問題の無かった薬剤まですべて、先発品を希望されるようになった。」

名称・外観

- ・薬の名前が長くてわかりにくい、覚えられない
- ・名称が変わり患者が混乱した
- ・シートの外観で服用方法を覚えていた患者が ジェネリックに変更後で混乱し、正しく服用できなくなった

医師の指示

- ・効果が不十分との医師の判断で先発に戻す様に連絡があった
- ・副作用発現で医師がジェネリックによる副作用だと判断し戻してしまった

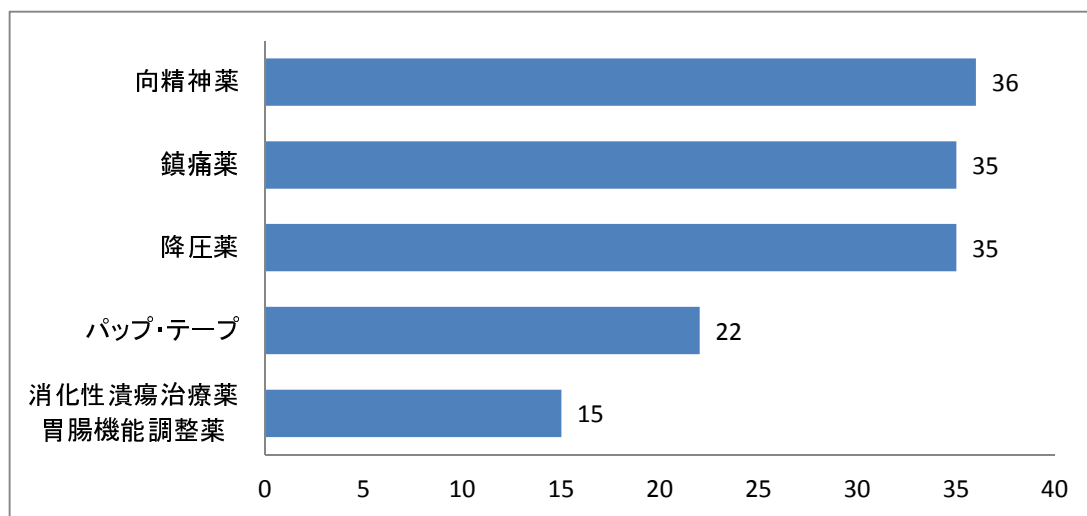
供給不安定

- ・発売中止品が多い
- ・原薬の供給不足のため製品供給停止になった

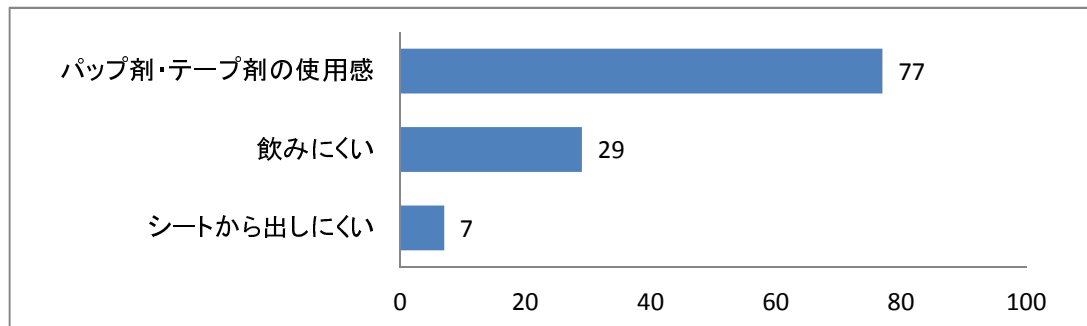
その他の内容（抜粋）

- ・患者が、予想したほど自己負担が減らず疑問を持たれた。
- ・1割負担で金額にあまり差がないということで、先発品に戻したことがある。
- ・ブランド志向の強い患者さんは、他メーカーを受け入れようとしない

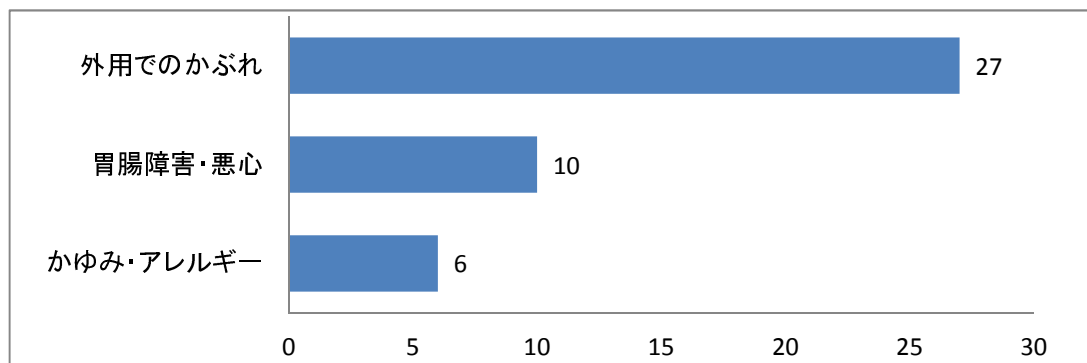
効果減弱・ばらつきの内訳（多かったもの）



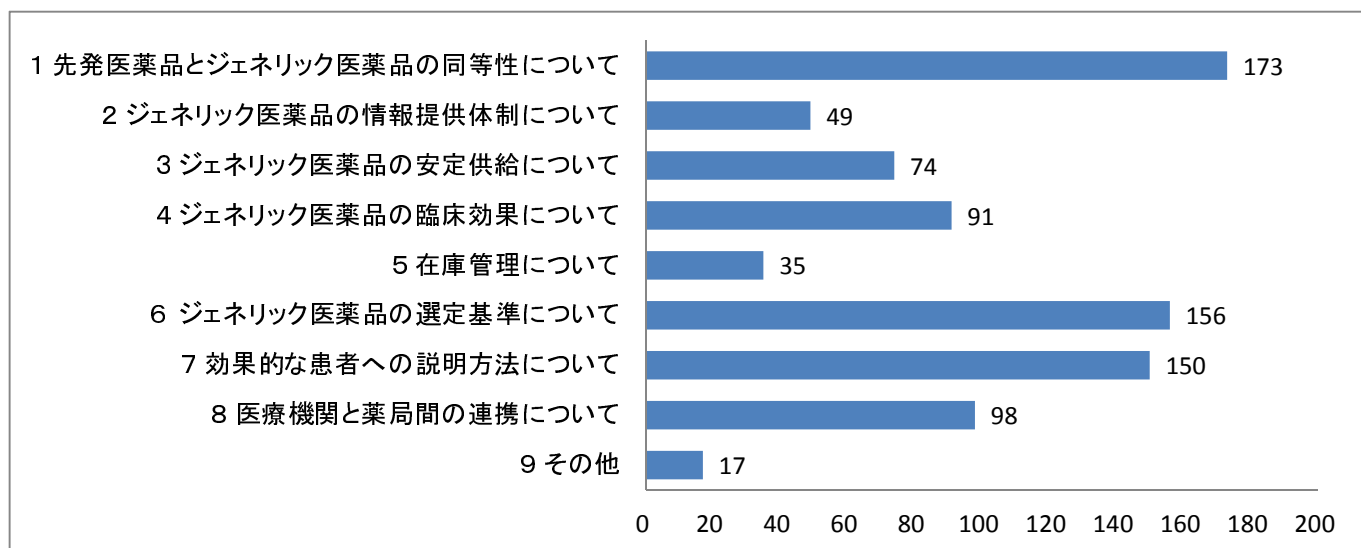
使用感（多かったもの）



副作用（多かったもの）



問6 本協議会ではジェネリック医薬品使用推進事業の一環として講演会の実施を検討しています。どのような内容であれば、参加してみたいですか。あてはまるものを選び、✓印を付けて下さい。（2つまで）



その他の内容（抜粋）

- ・ジェネリックでの問題があった事例
- ・バイオシミラーについて
- ・医師や住民向けの講演会を広く実施してほしい。
- ・後続品と後発品の違い
- ・多職種（行政・医師・薬剤師）間でのミーティングの様な最近よくあるSGD形式の様な会が必要な気がする。
- ・市民にむけた後発品が正しく理解できる研修会
- ・先発品と異なる製剤上の特徴について。ジェネリック医薬品を選択する際、各メーカーの製剤の違いについて。（例：味・形・色・シート等の違い）
- ・国による先発品とGEの同等性試験の取り組み
- ・品質や安定供給に不安のあるジェネリック政策を進めるのではなく、オリジナル品で長期収載品目の薬価をジェネリックと同一にすれば、すべてが解決する。そのように国に向かって末端から要望を出すのも県の仕事ではないでしょうか？

別紙3

具体事例について、真偽の検証を行っていないため、ホームページ上での公表しておりません。詳細については、奈良県医療政策部薬務課薬事・献血係（0742-27-8670）まで、お問い合わせください。